

平成 29 年度「教学と現代」
「家族を考える」シリーズ第 3 回

「生命倫理と家族の未来」

【開催趣旨】

医療技術の驚異的な進歩は、これまで治せなかった病気の治療に大きな貢献をもたらしました。その一方で、人間生命を操作したり改変したりすることも可能になり、その結果、家族のあり方を予想もつかないようなかたちで変えうるようになってきました。たとえば、家族の 1 人が遺伝子治療、不妊治療、臓器移植を検討しようとした場合、さまざまな選択肢が出てきました。その際、受精卵診断で生まれる子どもを選択したり、遺伝子・DNA（ゲノム）を改変してデザイナーベビーを産むことは許されるのでしょうか。また臓器移植を行うとしたらどこまでが許容範囲なのでしょうか。これらはいずれも最先端の生命倫理のテーマです。生命操作により家族の姿を一変させることもあり得る時代、この問題をめぐる生命倫理と家族のあり方について、「確かな拠り所」の視点からどのように思案すればいいのか、皆さまと一緒に考えてまいりたいと思います。

【基調講演】

佐藤孝則 研究員

「生命操作の視点から

臓器移植・生殖医療・ゲノム編集を考える」

【パネルディスカッション】

「生命操作はどこまで認められるか

— 「確かな拠り所」と家族の近未来」

・ 深谷耕治 天理大学非常勤講師

「医療現場と宗教の関わり」

・ 堀内みどり 主任

「生命倫理の諸事例から」

【総括コメント】

高見宇造 所長

日時：2018 年 3 月 25 日 13:30～16:30

場所：天理大学研究棟第一会議室

事前のお申込みは不要です。お車でお越しのさいは研究棟東側に駐車場がございます。

天理大学おやさと研究所
平成 30 年度公開教学講座

信仰に生きる 『逸話篇』 に学ぶ（4）

第 1 回：4 月 25 日（水曜）	高見宇造 所長	56 「ゆうべは御苦労やった」
第 2 回：5 月 25 日（金曜）	岡田正彦 研究員	61 「廊下の下を」
第 3 回：6 月 25 日（月曜）	佐藤孝則 研究員	64 「やんわり伸ばしたら」
第 4 回：9 月 25 日（火曜）	森洋明 研究員	62 「これより東」
第 5 回：10 月 25 日（木曜）	澤井治郎 研究員	59 「まつり」
第 6 回：11 月 25 日（日曜）	堀内みどり 主任	52 「琴を習いや」

場所：天理教道友社 6 階ホール

時間：午前 10 時～11 時 30 分

*お車でのご来場はご遠慮下さい。

事前予約不要
来聴無料

グローバル天理

第 19 巻 第 3 号（通巻 219 号）

2018（平成 30）年 3 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 高見宇造

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <http://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/j-home.htm>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan